

サプライチェーンに潜む現代奴隷制度のリスクを理解する

自己評価アンケート

経営やサプライチェーンにおける現代奴隷制度のリスクを認識し理解するために協働することは、世界における現代奴隷制度や関連する現状への取り組みとして重要な一歩であるといえます。

現代奴隷法

英国現代奴隷法(2015年)や、近年のオーストラリア現代奴隷法(2018年)の施行により、ビジネスにおいて現代奴隷制度により一層取り組むことが求められています。現代奴隷法により、規模の大きな組織は、その経営やサプライチェーンにおける現代奴隷制度のリスクの査定・取り組みの状況を説明したステートメントを、一年に一度提出する必要があります。現代奴隷法は、ビジネスにおける現代奴隷制度への問題意識を高め、世界のサプライチェーンにおける透明性を改善することを目的の一つとして作成されました。

さらに、ビジネスと人権に関する国連フレームワーク(the UN Guiding Principles on Business and Human Rights)は、ビジネスの経営やサプライチェーンにおける現代奴隷制度の防止・緩和・適切な改善に向けた取り組み、人権を尊重する責任を定めています。

SAQの目的

自己評価アンケート(“SAQ”)は次の目的のために定められました。

- 現代奴隷制度のリスクを認識することの手助け
- これらのリスクに取り組むためのサプライヤーと組織の共同活動の推進
- 透明性の改善
- 特に注意が必要な部分の認識

このSAQは、資源・鉱業・エネルギー業界の組織の広範囲にわたる協力の下作成されました。現代奴隷制度のリスクに取り組むことは、道徳的に正しいという理由に加え、ビジネスにおける経営やサプライチェーンの規範や質を改善させるという理由もあり、ビジネス上非常に重要な問題であるといえます。

SAQの記入方法

全ての質問に答えてください。SAQに正直かつ明確に答えることが、私たちが協力してサプライチェーンで認識されるリスク要因に取り組むことにつながります。

類似する注意すべき情報を要請する全ての組織に、回答したSAQの内容を共有することを推奨します。ただ、事前の書面による同意なしに回答内容が公表されることはありません。

更に詳細が知りたい場合はよくある質問”FAQ”をご覧ください。

PART A – 組織の詳細

組織の名前:			
組織番号 (ABN/CAN もしくは外国のそれに相当するもの):			
組織の住所 (本部):			
SAQ に回答する代表者への注意事項:			
残りの SAQ には、現在または検討中の物・資材・設備・サービス・この業界で締結している、もしくはする可能性のある業務委託契約と関連する敷地・施設・もしくは業務が行われている場所についてお答えください。もし複数の地域が該当する場合、自社の調達業務代表に、最善の回答方法をご確認ください。			
契約者と場所の詳細			
契約者の名前:			
対象となる物・資材・サービスの内容:			
設備・敷地・業務が行われている場所の住所:			
更に詳細を確認する場合の代表者の連絡先			
名前:			
組織内の役職:			
メールアドレス:			
電話番号:			
社員の情報¹	男性	女性	合計
社員人数			
正社員の数			
一時的もしくは契約社員、その他の労働期間が定められている社員の総数			
代理店や人材斡旋会社、その他の外部労働者派遣機関により派遣された社員の人数			
監査履歴			
信頼できる監査資料や証明書の内容、詳細（社会的、倫理的、環境に関する内容を含む）と、監査に関連する場所を記入してください。	<p>下記を含む監査の詳細を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外部機関による監査か、内部による監査か • それぞれの監査の日付 • 監査に関連する場所 <p>記入スペースが足りない場合、追加文書として添付してください。</p>		
監査手法の証明			

¹ 社員とは、（雇用体系が直接的・間接的もしくは一時的・永続的にかかわらず）対象となる物・原料・サービスを、契約者のためもしくは契約者代表として提供する全ての個人を指す。

PART A – 組織の詳細

SMETA や ETI、他の ISO standard、もしくは他の関連する検査等、第三者機関による監査手法を証明できるものを、日付を記入した上で提出してください。

監査手法の証明の詳細と日付を提出してください。記入スペースが足りない場合、追加文書として添付してください。

PART B – 現代奴隷法リスク要因の自己評価**SAQ に回答する代表者への注意事項:**

関連する追加情報を参照しながら、全ての質問に答え、その理由を記入してください。必要に応じて補足として追加文書を添付することも可能です。もし助言や説明が必要な場合は、自社の調達業務代表にお問い合わせください。

一般的な現代奴隷制度への取り組み	Yes	No	
1. 組織内での現代奴隷制度のリスクや事実に対して、認識、調査、改善するポリシーやプロセスを有していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細を記入してください。
2. 従業員に現代奴隷制度に関する研修を行っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
サプライチェーンの管理	Yes	No	
3. サプライヤーに対して、現代奴隷制度に関する相当の注意 (due diligence) を払っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細を記入してください。
4. サプライヤーが、彼らのサプライヤーに対して、現代奴隷制度に関する相当の注意を払うことを、サプライヤーに要求していますか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
5. 現代奴隷制度の事実が疑われた場合、どのような処置をとりますか？			詳細を記入してください。
最も劣悪な形態の児童労働	Yes	No	
6. 最も劣悪な形態の児童労働、危険な児童労働、低年齢の児童の労働を禁止する国際労働機関 (the United Nations ILO Conventions ²) に従っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7. 組織内、もしくはサプライヤーにより児童労働が行われていないか確認するためのチェック作業を行っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細を記入してください。
強制労働、奴隷労働、人身売買	Yes	No	
8. 自社・サプライヤーの経営において、あらゆる形態の強制労働、奴隷労働、人身売買を含む現代奴隷制度を禁止するポリシーまたは制度を有していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細を記入してください。
9. 本人確認書類 (パスポート、出生届け、パスポートなど) の原本を記録していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

² 国際労働機関 138 号, 182 号, 190 号にあたる。”児童労働”とは、児童から彼らの幼年時代、児童としての可能性、尊厳、を奪い、身体的や精神的な発達に悪影響を与える業務、と定義されている。児童は 18 歳以下の全ての人と定義されている。国際労働機関は労働の最低年齢を 15 歳 (軽作業は 13 歳) と定め、危険が伴う労働は 18 歳からとした。より詳しい情報は、右記リンクを参照 <https://www.ilo.org/ipec/facts/lang--en/index.htm>。(英語)

10. 労働者は、“敷金”（経済的・個人的な所有物を含む）や、採用費としては金銭を払うことを求められていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11. 賃金の控除や、金銭的罰金、賃金の支払いの拒否を行っていますか？これらは、怠慢や生産性の低さを理由にした罰金も含まれます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
雇用状況	Yes	No	
12. 全ての社員は、賃金や労働時間を含む労働条件が明確に、かつ本人に理解できる言語で記載された契約書を基に契約していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13. 労働者に宿泊施設（寮・ホステル・その他の共有する形式の宿泊施設など）が提供されている場合、生活環境が適切であり、法を満たしているか定期的にチェックを行っていますか？（火災対策・広さ・気温・照明・衛生設備・プライベートの配慮・風通しなど）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細を記入してください。
14. 宿泊施設が提供されている場合、労働者は本人の意思で自由に施設から出ることが認められていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15. 労働者は、合法的に、制限・罰則なく自由に退職することが認められていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
16. 労働者は、定められた時間通り、賃金の計算方法や控除の詳細が記載された給与明細とともに、法に則った賃金が支払われていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
不満・改善のための制度	Yes	No	
17. 労働者が労働条件や労働場所に関する不満を感じた際に、匿名でそれを問題提起し、改善を求めることができる制度は存在しますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
18. 存在する場合、どのようにその制度の運用は監視されており、また制度による改善はどのように行われるか記入してください。	詳細を記入してください。		

PART C –SAQ 回答者による宣言

注意:

この SAQ は、組織の権限を持つ代表者が正当に署名する必要があります。ジェネラルマネージャーや幹部など、シニアレベルの社員による署名が望ましいです。署名の日付後に SAQ の回答内容を変更したい場合、速やかに自社の調達業務担当にお知らせください。

以下であることを認めます。:

- 私は組織の代表者としての権限を正当に有しています。
- ここに記載された情報は真実であり、完全かつ正確な情報です。

権限者の署名

権限者の名前

PART C –SAQ 回答者による宣言

	<hr/> <p>権限者の役職</p> <hr/> <p>日付</p>
--	-------------------------------------

アンケートに回答いただきありがとうございます。より詳細を知りたい場合は、自社の調達業務代表にお問い合わせください。